

卷之四

五

地不為物

所
為
不
可
不
察

子

河東公名

六月

廿一

再記

今日

一、
二、
三、

一、

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

今
日
之
事
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也

其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也

其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也

其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也
其
計
之
大
小
不
可
不
為
之
計
也

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and spans several lines across the right page.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the right page. It includes several lines of text, some of which are written in a larger, more decorative script.

Handwritten text in Arabic script, possibly a signature or a title, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in Arabic script, possibly a date or a reference, located at the bottom of the right page.

一、与陈独秀

一
此字乃元魏所書
所書也

一 沈氏以竹石為家，其子為之，西晉
竹書及石，其子為之，西晉

[illegible][illegible]

何れも此の如く

一、此の如く

二、此の如く

三、此の如く

四、此の如く

五、此の如く

六、此の如く

七、此の如く

八、此の如く

九、此の如く

十、此の如く

十一、此の如く

十二、此の如く

十三、此の如く

十四、此の如く

十五、此の如く

十六、此の如く

十七、此の如く

十八、此の如く

十九、此の如く

二十、此の如く

二十一、此の如く

一 若欲善其心也故欲其心之善也

此其心之善也

一 修其心之善也故欲其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

此其心之善也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

一 此乃... 之... 也

[illegible]

作外名制在乃升路之上蓋升海矣
 新新之西中水九之文以終之
 思之所至能心之者乃之勢
 し可也

吊莊周

三才圖會

吊在公之存蓋常以 作我前

安河之記年

一、作何處事和為計
作何處事和為計

三
子
子
子

一 西の海

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

一 西の海は、海に接する地である

平士

平士
平士
平士

平士

平士
平士
平士

平士

平士
平士
平士

平士
平士
平士

平士

平士
平士
平士

平士

平士

平士

平士

平士

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て
一 文部省の御用を以て

